



Welcome

**GoogleAppsScriptから
Googleスプレッドシートへ
データの書き込み・読み込み**



概要

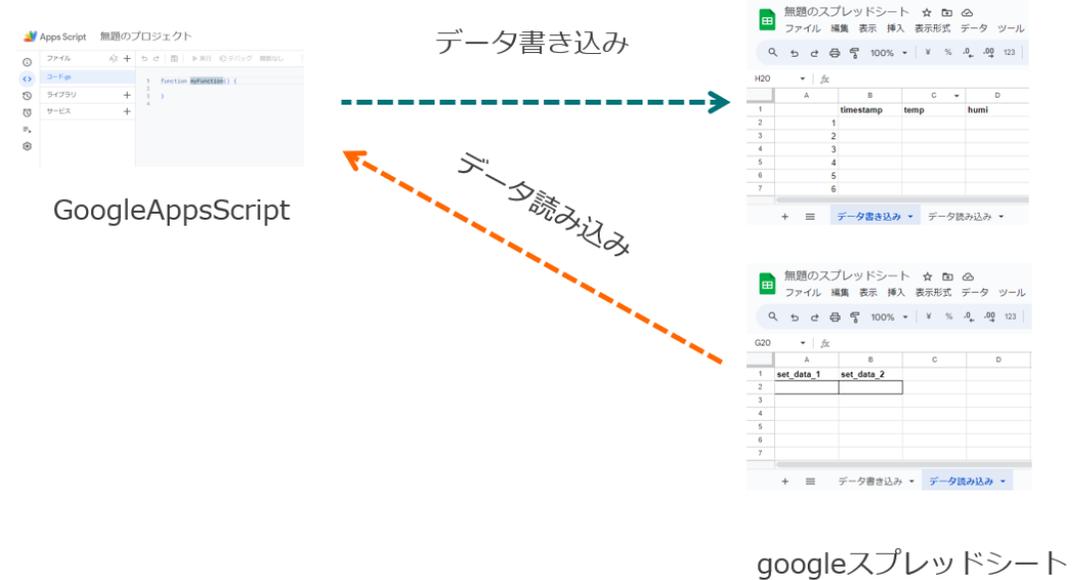
概要

- 今回はGoogleAppsScriptから任意のシートに対してデータ書き込み・読み込みを行います

対象のGoogleスプレッドシート内の

Sheet名称：データ書き込み
に対してデータの書き込みを行う。

Sheet名称：データ読み込み
に対してデータの読み込みを行う。

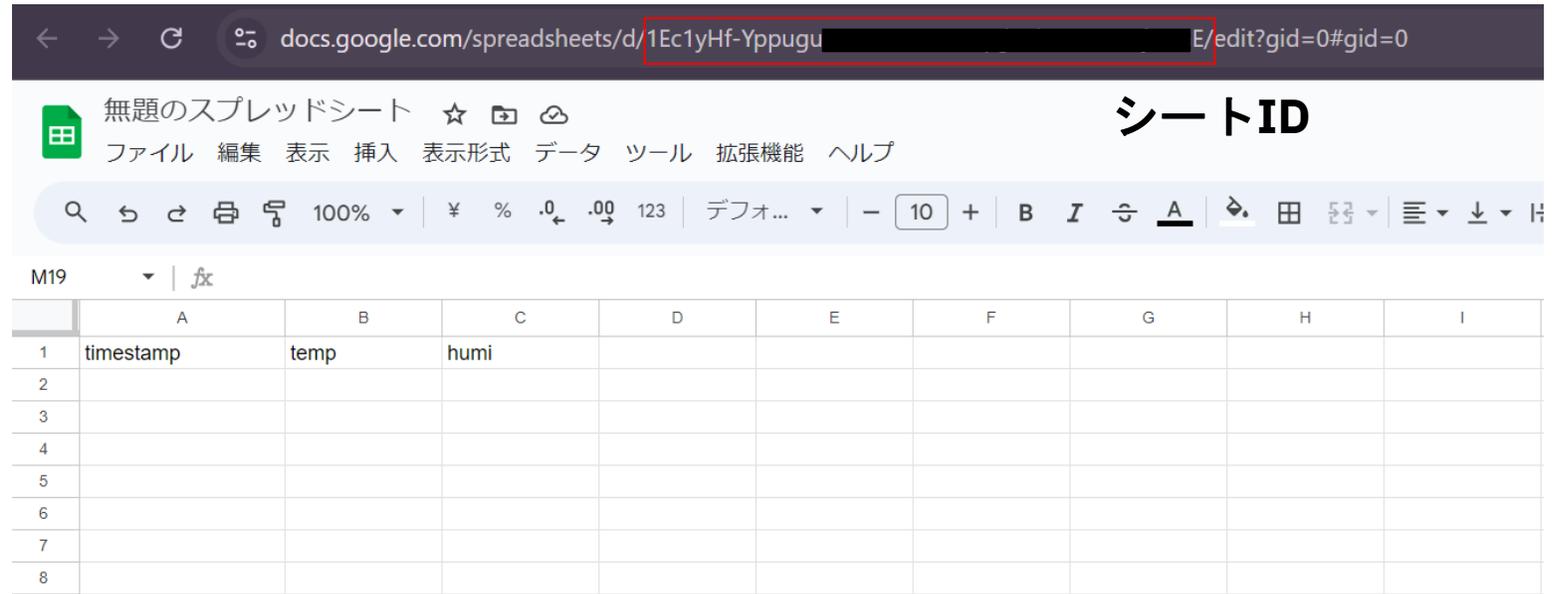


Googleスプレッドシートの準備

Googleスプレッドシート の準備

- まずはgoogleスプレッドシートを作成します。

GoogleAppsScriptにて
スプレッドシートを指定する際
[シートID]を使います。



docs.google.com/spreadsheets/d/1Ec1yHf-Yppugu.../edit?gid=0#gid=0

無題のスプレッドシート ☆ 📄 🌐

シートID

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

100% | ¥ % .0 .00 123 | デフォ... | - 10 + | B I ↺ A | 📄 📄 📄 | 📄 📄 📄 | 📄 📄 📄

M19 | fx

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	timestamp	temp	humi						
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									

Googleスプレッドシートの準備

- 対象のgoogleスプレッドシートに、以下2つのシートを作成します。

無題のスプレッドシート ☆ 📁 🌐
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張

100% | ¥ % .0 .00 123 | デフ

I7 | ㊦

	A	B	C	D
1	timestamp	temp	humi	
2				
3				
4				
5				
6				
7				

+ ≡ データ書き込み ▼ データ読み込み ▼

無題のスプレッドシート ☆ 📁 🌐
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール

100% | ¥ % .0 .00 123 |

G20 | ㊦

	A	B	C	D
1	set_data_1	set_data_2		
2				
3				
4				
5				
6				
7				

+ ≡ データ書き込み ▼ データ読み込み ▼

GoogleAppsScript -データ書き込み-

データ書き込み

- [データ書き込み]シートにデータを書き込むプログラムを作成します。

[sheet_ID]の部分にはシート作成時に確認したシートIDを記載します。

書き込むデータは以下の3つになります。

timestamp : [現在の日付]

Temp : 30

humi : 60

これらのデータが1行ずつ対象データの最終行の下に書き込まれます。

```
// データ書き込みにデータを書き込む  
function appendDataToLastRow() {  
  
  // スプレッドシートを開く  
  const sheet = SpreadsheetApp.openById([sheet_ID]).getSheetByName('データ書き込み');  
  
  // 書き込むデータの変数作成  
  const timestamp = new Date();  
  const temp = 30; // サンプル温度  
  const humi = 60; // サンプル湿度  
  
  // シートの最終行にデータを書き込む  
  sheet.appendRow([timestamp, temp, humi]);  
};
```

データ書き込み

- 対象のプログラムを実行して、データが書き込まれるのを確認します。

Apps Script 無題のプロジェクト [実行]でプログラムを動作させます。

```
1 // データ書き込みシートにデータを書き込む
2 function appendDataToLastRow() {
3
4   // スプレッドシートを開く
5   const sheet = SpreadsheetApp.openById( [REDACTED] ).getSheetByName('データ書き込み');
6
7   // 追加するデータ配列
8   const timestamp = new Date();
9   const temp = 30; // サンプル温度
10  const humi = 60; // サンプル湿度
11
12  // シートの最終行にデータを追加
13  sheet.appendRow([timestamp, temp, humi]);
14
15 }
16
```



無題のスプレッドシート

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張

100% | ¥ % .0 ↓ .00 123 | デフ

	A	B	C	D
1	timestamp	temp	humi	
2	2024/06/30	30	60	
3	2024/06/30	30	60	
4	2024/06/30	30	60	
5				

プログラムを実行するたびに
データが追加されます

GoogleAppsScript -データ読み込み-

データ読み込み

- [データ読み込み]シートからデータを読み込むプログラムを作成します。

[sheet_ID]の部分にはシート作成時に確認したシートIDを記載します。

書き込むデータは以下の2つになります。

A2セル: set_data_1

B2セル: set_data_2

```
function getCellData() {  
  // スプレッドシートを開く  
  const sheet = SpreadsheetApp.openById(sheet_ID).getSheetByName('データ読み込み');  
  
  // A2セルとB2セルのデータを取得  
  const set_data_1 = sheet.getRange('A2').getValue();  
  const set_data_2 = sheet.getRange('B2').getValue();  
  
  // データをログに出力  
  Logger.log('set_data_1: ' + set_data_1);  
  Logger.log('set_data_2: ' + set_data_2);  
};
```

データ読み込み

- 対象のプログラムを実行して、データが読み込まれるのを確認します。

無題のスプレッドシート ☆ 📄 ☁
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール

メニュー ↶ ↷ 🏠 📏 100% ▼ | ¥ % .0 .00

	A	B	C	D
1	set_data_1	set_data_2		
2	50	80		
3	「データ読み込み」シートのA2,B2セルに			
4	任意の値を入力します			
5				

[実行]でプログラムを動作させます。

```
1 function getCellData() {  
2 // スプレッドシートを開く  
3 const sheet = SpreadsheetApp.openById('XXXXXXXXXXXX').getSheetByName('データ読み込み');  
4  
5 // A2セルとB2セルのデータを取得  
6 const set_data_1 = sheet.getRange('A2').getValue();  
7 const set_data_2 = sheet.getRange('B2').getValue();  
8  
9 // データをログに出力  
10 Logger.log('set_data_1: ' + set_data_1);  
11 Logger.log('set_data_2: ' + set_data_2);  
12 };
```

実行ログ

22:50:15	お知らせ	実行開始	
22:50:18	情報	set_data_1: 50	入力した値が出力されます。
22:50:18	情報	set_data_2: 80	
22:50:18	お知らせ	実行完了	

Thank you